

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 横浜鶴見教室

保護者等数(児童数) 37名

回収数 33件(割合〇%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	2		1	集団と個別のブース分けがきちんと配慮されている 一軒家で広い	活動分けには各所にマットを敷いたり、課題を行う机の色分けを行ったりと、構造化を用いた工夫をしている
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1		5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	3		4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1		2		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	2		1	支援のおかげで、とても成長を感じている	今後も、お子さまの成長を感じることを保護者の皆様と共有させていただけるとありがたい
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31			2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	2	14	幼稚園への伝達や、送迎時の連携をきちんと行ってくれている	近隣の保育園へのご挨拶回りや、パンフレットの配布などは今後も継続していく
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1		2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	5	9		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	4	1	1	連絡ノートがなくなってしまったので、こちらから伝えることがある際の連絡ツールを知りたい	連絡ツールアプリから、保護者が気軽に遅れるメッセージを機能の項目を増やすことで改善されている
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	2	1	4		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1		3		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	5	11	あきまつりのような家族参加イベントや、開放日の開催を増やしていただくと嬉しいです	毎年恒例の教室開放を設けたお祭りを、今年度も開催できた 毎年、時間に制限があり、もう少し余裕を持った開催方法があれば検討していきたい
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4		3		区の子どもサポートプランの導入により、セルフプランが面倒と感じるご家庭が減っている、今後の就学先などを検討する際も、受給者証所持の家庭には支援学校の手紙なども配布されている
保 護 者	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	3			送迎時に詳しいフィードバックがあり、助かっている、面談時だけでなく、日頃から連絡などが気軽に出来ている	保護者様が忙しいご家庭には、別にお手紙などを作成している

自 己 の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1		1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	2		18		事故が起きた際や緊急時の対応に関しては、ご契約時丁寧にご説明しているが、長年通所をしてくださっているご家庭は忘れてしまっていることも多い、毎年お手紙を配布することを検討している
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2		12		避難訓練の様子や安全週間の期間は、会報誌に活動の様子を掲載する
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	1	6		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	2			笑顔で見送って、また笑顔で帰ってくる、本人のその日の気分で変わってしまうのが申し訳ない	今後も事業所のコンセプトである「子どもの笑顔と家族の幸せ」のために、安心できる環境を提供したい
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	2			入会したばかりですが、全く嫌がる様子もなく通えている、おでかけが特に楽しみのようです	特定の児童にだけでなく、通所している児童の全員が楽しいと感じる活動やプログラムを、今後も提供していく
	29	事業所の支援に満足していますか。	33				とても満足、日曜日の休みの日にも「今日もごぼんに行きたい」と言ってくる、本日の様子を読むのが楽しみです	保護者の方々からの満足度は、職員にも励みになっている、今後も連携を図りながら共有を行うことで、より良い支援につなげていきたい

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 横浜鶴見教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		手洗い場が一つしかないで常に順番待ちが せられた提示物が貼ってあるが、間違い探しや 迷路なども検討している	順番待ちをしている壁側には、興味に合わせた提示物が貼ってあるが、間違い探しや迷路なども検討している
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	専門的に個別支援が必要な際は、パーティションなどを活用している	個室の部屋がないので、自分でコントロールするために場所を移動する手段がない
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			保護者向けのアンケートを実施している期間から回収までを周知し、その内容の振り返りを迅速に行うこと
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	立案チームではなく、プログラム作成担当がいるため、毎月個々に話し合っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			繰り返し行われるプログラムには、毎回一緒の内容ではなく変化を付けることや、プログラム担当を月ごとに決める
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼や昼礼の時間には、前日の振り返りや、管轄会議の申し送りなどを行う	全体周知までに時間を有すことに関しては、メールなどの連絡ツールを行うことで回避
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	その日に振り返ることが出来ない場合は、記録書に記載し、後で共有できるようにしている	単位ごとの打ち合わせや支援の方向性を話し合う会議を、次月の勤務表が作成されたときに決定する
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	入学前に、保護者様は支援シートの提出があるため、必要に応じた介入を行っている	支援シートに関しては、保護者様のみや他機関で作成された場合、共有が薄い場合があるため、連携を求めたい
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	需要も少ないため、電話や手紙などで丁寧な対応を行うことで信頼を得ていきたい	実際にトレーニングを行うことの難しさはあるが、保護者会などの意見交換の場を検討していきたい	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		事業検討会議が必須であるため、カンファレンスをしっかり行い、解決まであまり時間を有さない	相談内容によっては、職員が一人に対応するのは難しく、様々な意見を等して助言していきたい
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	年に一回、教室開放日を設けたイベントに行ってきた、今年度も多くの来客があり、にぎやかに過ごすことが出来ていた	様々な縛りの中での開催のため、時間なども限られている、営業日を活用した開催が必須のため、今後は単位ごとで活動することを提案していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月の会報誌や、Instagram担当を設置	写真の掲載承諾書は、ご契約時に記載をお願いしているが、ご利用年数が長い方だと内容が変更することもあるため、年ごとに確認
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	教室開放は、地域の皆様にも参加を促しているが、定着していないのが現状	開催前に、ポスターの提示などを検討、また地域活動の拠点となっている会館などを訪問する
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	記録担当員が毎回決まっている、記載内容には、改善点や具体的な解決方法も記載している	記載を読むだけでなく、再発防止に関する意見を持ち合わせ、検討会議を開いていきたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			